



6月12日、会派を代表して代表質問をしました

### 第349回6月定例県議会 補正予算案を可決 新型コロナ対策を強化

新型コロナウイルスにより亡くなられた方にお悔やみと、罹患された方にお見舞いを申し上げます。感染症の拡大は、社会経済活動、県民生活に多大な影響を与えています。医療、介護、保育関係者の懸命な努力、そして県民、事業者の皆さまの協力により、政府の緊急事態宣言は解除されたものの、ウイルスとの戦いはまだ終わっていません。第2波への備えや、社会経済活動の本格的な再開のための需要喚起、新しい生活様式への対応を図ることが重要です。

自民党議員団として各種団体や住民の皆さまの声を政策化し、県当局に随時、要望してきました。その結果、2月、3月、4月と感染状況に応じて機動的に補正予算が編成されましたが、6月9日に開会した第349回定例県議会でも新型コロナウイルス6月補正予算が編成され、議会審議を経て可決されました。①医療提供体制・感染拡大防止対策等のさらなる充実、②地域経済の活性化・地域の元気づくり、③ポストコロナ社会を見据えた兵庫の基盤づくり、などを基本方針として下記の事業を機動的に推進していくことにしています。

今後、ウィズコロナ、アフターコロナも見据え、安全安心の基盤づくり、地域創生の実現をめざして現場を重視し、県民に寄り添いながら、「もっと好きになる兵庫」づくりにまい進いたします。



- #### 医療体制 (2~4月補正の成果)
- 自宅療養者ゼロを堅持**
    - ▶感染者病床数を順次拡大し、これまで以上の感染者発生に耐える病床数を確保 (515床)
    - ▶4月11日以降、軽症者等の宿泊療養施設を順次拡大 (578室)
    - ⇒自宅療養者ゼロ堅持 (特定警戒都道府県で自宅療養者ゼロは全国3県のみ)
  - 円滑な入院調整と宿泊療養を実施**
    - ▶感染拡大前に、保健所圏域を越えた入院調整体制を構築
    - ▶安心できる宿泊療養の徹底 (陽性者は原則全員入院し、医師の判断の上で軽症者を宿泊療養に移行)
  - 迅速なPCR検査体制**
    - ▶これまでで最も多い検査数 (270件) にも十分対応できる能力 (404件) を確保し、検査待ちを解消
    - ▶全ての陽性患者への連続2回の陰性確認を継続
  - 医療資材の安定確保**
    - ▶マスクなど医療資材の在庫状況を県が把握し、不足する医療機関等に配布

- #### 6月補正 / 医療・検査体制の強化、地域経済活性化・元気づくり
- 入院医療体制の強化**
    - ▶医療従事者の派遣、空床補償単価の改善、人工呼吸器等の追加、重点医療機関設備整備など
  - 医療機関等の検査機能の充実**
    - ▶PCR検査機器の増設、前処理の自動化、移動型PCR検査装置の開発支援など
  - 地域医療体制の維持・確保**
    - ▶感染症の影響に対応した医療機関の支援、感染症対応従事者慰労金の支給など
  - 感染症患者の入院医療費の公費負担**
  - PCR検査試薬の確保**
  - 抗原検査の公費負担**
  - 妊産婦への分娩前ウイルス検査**
- 医療用マスク・防護服  
3カ月分：医療機関で確保 さらに6カ月分：県で確保

- 資金繰り支援**
  - ▶新型コロナウイルス感染症対応無利子資金 (5/1~) の拡充
  - ▶保証料応援貸付の創設  
5月7日以降の休業要請延長に応じた事業に対し、経営継続支援金を加算
- 県有財産使用料等の減免等**
  - ▶コロナの影響で収入が概ね20%減少した者への徴収猶予や、休業要請に応じた売上減少事業者への減免
- 地域産業**
  - ▶新規産業立地促進補助の拡充  
コロナ禍により、脆弱性が顕在化したサプライチェーンの強化・再構築を支援。特に新型コロナウイルス感染症影響対策として、海外自社製品やコロナで需給が逼迫した医療物資等の生産施設を県内に整備する者を支援
  - ▶がんばるお店・お宿応援事業の拡充
  - ▶地場産業の持続・活性化への支援

自由民主党議員団を代表して質問に立ちました。主な内容は次の通りです。

①改正インフルエンザ等対策特別措置法の課題と知事のリーダーシップについて

【答弁】 休業要請にあたる国との事前協議が必要であること、法に基づく協力や要請に応じた者への支援制度がないこと、事業者が休業の指示に応じない場合に実効性の確保が難しいなどの課題が明らかになった。今後、次なる波に備え、感染予防の生活様式「ひょうごスタイル」を進め、医療・検査体制の強化、事業活動の支援、自然災害との複合災害への備えなども強力に推進する。

②感染の「第2波」襲来を想定した今後の備え

③今回の感染症対策を踏まえた公立・公的医療機関の再

④県の令和2年度6月補正予算案の特徴と今後の本県財政の運営方針

⑤「ひょうごスタイル」を踏まえた今後の避難所運営のあり方等について

【答弁】 ガイドラインに基づき、避難者間の身体的距離の確保などのほか、企業の福利厚生施設やホテル・旅館の避難所活用、換気設備の整備や衛生資材の確保といった避難所の環境整備を市町に求めている。

⑥新型コロナウイルスショックを踏まえた農林水産業の今後の展開方針

⑦学校再開後における教育活動等

⑧感染の収束後を見据えた今後のツーリズム戦略

⑨ポスト・コロナ社会を見据えた本県の将来展望

④県の令和2年度6月補正予算案の特徴と今後の本県財政の運営方針

⑤「ひょうごスタイル」を踏まえた今後の避難所運営のあり方等について

【答弁】 ガイドラインに基づき、避難者間の身体的距離の確保などのほか、企業の福利厚生施設やホテル・旅館の避難所活用、換気設備の整備や衛生資材の確保といった避難所の環境整備を市町に求めている。

- #### 観光
- ▶ Welcome to Hyogo キャンペーンの拡充
    - ・コンベンション開催誘致=ホテル、旅館の会議場等における学会やコンベンションの開催費用を支援
    - ・ひょうご五国のバス旅支援事業=県内観光地を巡る五国交流バスツアーの造成を促進するとともに、参加者に県特産品セットを贈呈
  - ▶観光拠点整備への支援
  - ▶少雪の影響を受けた地域への誘客促進
    - ・魅力ある観光づくり支援事業
    - ・スキー場設備整備支援事業
    - ・合宿誘致事業・宿泊割引支援事業・誘客促進支援事業
- #### 農林水産業
- ▶山田錦等酒米持続的生産応援事業の実施
    - ・日本酒の需要減少により影響を受ける酒米の価格差支援や、作付転換、給食活用や商品開発等への支援
  - ▶県産地鶏肉・水産物の学校給食提供の支援
  - ▶県産農畜水産物の販売・消費促進
    - ・県公式オンラインショップ「ひょうご市場」によるキャンペーン
    - ・美味いもん情報トータルサイト「御食国ひょうご(仮称)」の創設

第349回6月定例県議会



# 「ひょうごスタイル」で 新型コロナ感染予防を

## I 感染拡大を予防する

### 「日常生活」(ライフスタイル)

ウイルスとの共存を意識した生活習慣  
(「3密」の回避、身体的距離の確保、マスク着用 など)

## II 感染拡大を予防する

### 「働き方」(ワークスタイル)

(在宅勤務や時差出勤の推進、対面での打ち合わせは換気  
とマスクを、職場での「3密」防止 など)

## III 自然災害と感染症との

### 「複合災害」への備え(災害文化)

「新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営  
ガイドライン」の活用 など

## 新型コロナ対策支援で

# 議員報酬等から1億円供出

## 期末手当など15%カット

全議員が

兵庫県議会は新型コロナウイルス感染症対策への協力量策として、すべての議員が6月に支給される期末手当と、7月から来年3月までの9カ月間の政務活動費を15%カットし、これに議会運営費を合わせた総額約1億円をねん出、有効活用を求めて県当局に供出しました。

新型コロナという未曾有の危機に、議会としてどのような協力ができるのかを検討した結果、無所属議員を含めた各会派の全会一致の合意を得て実施しました。引き続き県当局と連携・協力し、県民の命と健康、生活を守るため、全力で感染症対策に取り組みます。

## 新執行部(政務調査会長室)、健康福祉常任委員会に所属することになりました!

この5月から1年間政務調査会長室の筆頭副会長として、岡が所属する会派の基本政策の立案、県民の要望や県施策の調整などを担当することとなりました。地元を不在にする機会も増えるかもしれませんが、県全体の発展が地元の発展にもつながるという気概を持って取り組んで参ります。

また、健康福祉常任委員会では住民福祉の向上はもちろんのこと、新型コロナの第2波への対応を重点的に取り組んで参ります。

### ▶▶▶ 令和2年度 重点項目と新部会メンバー ◀◀◀

#### 総務部会

- 1. ポスト・コロナ社会に向けた社会変革
- 2. 兵庫五国の「地域創生」の実現

- 内藤 兵衛 部会長 (西脇市)
- 北口 寛人 副部会長 (明石市)
- 山本 敏信 政策委員 (高砂市)
- 大前はるよ 政策委員 (西宮市)
- 松井 重樹 政策委員 (たつの市 揖保郡)

#### 健康福祉部会

- 1. 子供・子育て支援の充実
- 2. 社会福祉基盤の充実と地域福祉力の向上
- 3. 医療確保と健康づくり

- 黒川 治 部会長 (尼崎市)
- 谷口 俊介 副部会長 (神戸市 西区)
- 石川 憲幸 政策委員 (丹波市)
- 伊藤 傑 政策委員 (神戸市 須磨区)
- 橋 秀太郎 政策委員 (美方郡)

#### 産業労働部会

- 1. 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小・小規模事業者やフリーランスを含む個人事業主への支援
- 2. 優れた技術や製品等の高付加価値による地域産業の競争力向上
- 3. 地域を支えるものづくり産業・地場産業とサービス産業の生き残りを目指して
- 4. 兵庫の多彩な資源を生かした観光ツーリズムの維持と再開を目指して

- 和田有一朗 部会長 (神戸市 垂水区)
- 五島壮一郎 副部会長 (姫路市)
- 森脇 保仁 政策委員 (宝塚市)
- 北川 泰寿 政策委員 (西宮市)
- 松本 裕一 政策委員 (加古川市)

#### 農政環境部会

- 1. 需要に応える農業の競争力強化と持続的発展
- 2. 木材の有効利用と森林の保全・再生
- 3. 豊かな海の再生と水産業・浜の活性化
- 4. 地球温暖化対策
- 5. 人と動植物の共生と豊かな自然の保全

- 藤田 孝夫 部会長 (養父市)
- 山口 晋平 副部会長 (たつの市 揖保郡)
- 永田 秀一 政策委員 (南あわじ市)
- 浜田 知昭 政策委員 (洲本市)
- 富山 恵二 政策委員 (相生市)

#### 建設部会

- 1. 備える(耐震対策や緊急輸送道路の整備・強化などを推進)
- 2. 支える(自転車通行空間の計画的な整備、路線バスやコミュニティバスの運行・利便性向上の支援など)
- 3. つなぐ(港湾施設の整備や利用促進、神戸空港や但馬空港の活用促進など)

- 松本 隆弘 部会長 (明石市)
- 中野 郁吾 副部会長 (西宮市)
- 原 吉三 政策委員 (神戸市 中央区)
- 村岡真夕子 政策委員 (三木市)
- かわべ宣宏 政策委員 (神戸市 長田区)

#### 文教部会

- 1. 「新学習指導要領」及び「ひょうご教育創造プラン」に基づいた教育の推進
- 2. ふるさと兵庫の未来を支える人材の育成
- 3. 子供たちの学びを支える仕組みの確立

- 小西 隆紀 部会長 (丹波篠山市)
- 福島 茂則 副部会長 (神戸市 兵庫区)
- 藤原 昭一 政策委員 (小野市)
- 大豊 康臣 政策委員 (加西市)
- 長瀬たけし 政策委員 (神戸市 東灘区)

#### 警察部会

- 1. 重要凶悪事件に対する検挙活動の強化
- 2. 暴力団等組織犯罪対策の強化

- 大谷かんすけ 部会長 (尼崎市)
- 門間 雄司 副部会長 (豊岡市)
- 長岡 壮壽 政策委員 (赤穂市 赤穂郡)
- 北野 実 政策委員 (姫路市)

## 議長に原テツアキ(淡路市) 議員

## 副議長に春名哲夫(宍粟市) 議員が就任

第349回定例県議会の閉会日となった6月17日、正副議長の改選が行われ、自民党議員団の原テツアキ議員(淡路市)が議長に、春名哲夫議員(宍粟市)が副議長に選ばれました。

6月に開かれた第349回定例県議会で、我が会派が紹介者となった「中華人民共和国全国人民代表大会における香港の国家安全に関する決定に適切な対応を求める意見書」と、提案した「新型コロナウイルス感染症の一層の感染拡大防止対策及び経済

活動・国民生活支援の充実強化を求める意見書」「地方衛生研究所の機能強化を求める意見書」の3件を含む計5件を全会一致で採択しました。

今後、国や関係機関に強く要請していきます。